

用語解説

| 語句 | 意味 |
|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 英数字 | |
| AI(人工知能) | 人間の脳が行っている知的な作業をコンピュータで模倣したソフトウェアやシステム。具体的には、人間の使う自然言語を理解したり、論理的な推論を行ったり、経験から学習したりするコンピュータプログラムなどのことをいう。 |
| BRT | Bus Rapid Transit の略。連接バス、バス専用道路、ICカードシステムの整備等により、路面電車と比較して遜色のない輸送力と機能を有するバスシステム。通常の路線バスと比べると、定時性に優れ、より多くの輸送量を確保できるのが特徴 |
| ICT | 情報処理および情報通信に関連する諸分野における技術・産業・設備・サービスなどの総称 |
| IoT | コンピュータなどの情報・通信機器だけでなく、世の中に存在する様々な物体(モノ)に通信機能を持たせ、インターネットに接続したり相互に通信することにより、自動認識や自動制御、遠隔計測などを行うこと |
| ITS技術 | Intelligent Transport System の略で、最先端の情報通信技術を用いて人と道路と車両を情報でネットワーク化し、交通事故、渋滞などの解決を目的とする交通システム |
| JGAP | Japan Good Agricultural Practice の略で、食の安全や環境保全に取り組む農場に与えられる認証であり、わが国独自の国際レベルのGAP認証 |
| LED | Light Emitting Diode(ライト・エミティング・ダイオード)の略称。白熱灯や蛍光灯に比べて長寿命で省電力、コンパクトなどの長所を有する。 |
| MICE | 企業等の会議(Meeting)、企業等の報奨・研修旅行(Incentive Travel)、国際機関等が行う国際会議(Convention)、イベントや展示会等(Event/Exhibition)の総称 |
| SOHO | Small Office Home Office の略で、小規模な事業者や個人事業者のこと。また、事務所などを離れネットワークを利用して仕事をする形態のこと |
| V2H | Vehicle to Home の略で、電気自動車、プラグインハイブリット車、燃料電池自動車などと住宅の間で電力を融通しあうこと |
| あ行 | |
| アーティスト・イン・レジデンス | 国内外から芸術家を一定期間招へいし、滞在中の創作活動等を支援する事業のこと |

| 語句 | 意味 |
|---------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| アクセシブル・ツーリズム | 障害者や高齢者など、移動やコミュニケーションにおける困難さに直面する人々のニーズに応えながら提供する旅行のこと |
| アセットマネジメント | 施設の状態を評価し、適切な維持管理を行うとともに、ライフサイクルコストや中長期的な事業量の平準化などを勘案しつつ、計画的かつ効率的に資産を管理する方法 |
| アンダーパス | 道路や鉄道などと立体交差する道路で、路面の高さが前後と比べて低くなっている構造形式 |
| イノベーション | 「技術革新」「刷新」のこと。技術の革新にとどまらず、これまでとは全く違った新たな考え方、仕組みを取り入れて、新たな価値を生み出し、社会的に大きな変化を起こすことを指す。 |
| インキュベーション施設 | 創業者を支援するため、低廉な家賃でオフィスを提供し、あわせて経営支援などを行う創業支援施設 |
| インバウンド | 外国人が訪れてくる旅行のこと |
| エコツーリズム | 地域ぐるみで自然環境や歴史文化等、地域固有の魅力を観光客に伝えることにより、その価値や大切さが理解され、保全につなげることを目指す仕組み |
| エコロジカル・ネットワーク | 人と自然の共生を確保していくため、すぐれた自然環境を有する地域を核として、生態的なまとまりを考慮した上で、有機的につないだ生態系のネットワーク。ネットワークの形成により、野生生物の生息・生育空間の確保、人と自然とのふれあいの場の提供、地球温暖化防止等多面的な機能が発揮されることが期待される。 |
| エリアマネジメント | 住民・事業主・地権者等が連携し、まちにおける文化活動、広報活動、交流活動等のソフト面の活動を自立的・継続的・面的に実施することにより、まちの活性化、都市の持続的発展を推進する活動 |

か行

| | |
|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 外環道 | 三環状道路の一つで東京外かく環状道路のこと。都心から約 15km に位置する、計画延長約 85km の環状方向の自動車専用道路 |
| 街区再編まちづくり制度 | 密集市街地等、まちづくりの課題を抱える地域において、都市計画に基づく規制緩和等を活用し、細分化された敷地の統合や細街路の付け替え等を行いながら、共同建替等を進めることにより、個性豊かで魅力のある街並みを形成する制度 |

| 語句 | 意味 |
|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 崖線 | 河川や海の浸食作用でできた崖地の連なり。自然の地形を残し、また崖線には多くの湧水があるなど、都内の市区町村界を越えて連続して存在する東京の緑の骨格となっている。 |
| 貨客混載 | 公共交通等を活用し、貨物と旅客を混載して運ぶこと。貨物と旅客双方の効率的な輸送の実現が期待される。 |
| 核都市広域幹線道路 | 都市計画区域マスタープランで検討路線に位置づけられている路線の一つ。首都圏中央連絡自動車道と東京外かく環状道路の中間に位置し、埼玉、東京、神奈川を結ぶ地域高規格道路の候補路線 |
| カスタムメイド | 注文段階で既製品の一部を特別な仕様とすること |
| 近隣センター | 中学校区を基本とした住区ごとに、各住宅から徒歩で利用できるようスーパーマーケットなどの日常生活に必要な施設をまとめて配置したもの |
| キャップ&トレード制度 | 個々の事業所等に温室効果ガスの排出量の上限を定めて、排出削減の確実な実施を担保するとともに、その過不足を取引によって移転又は獲得することを認める制度 |
| キャニオニング | キャニオン（渓谷）で遊ぶフランス発祥のスポーツのことで、ヨーロッパでは古くから親しまれている。沢によっては、ロープを使って懸垂下降やクライミングの要素など様々な手法を取り入れて渓谷を下る。 |
| 居住支援協議会 | 高齢者や子育て世帯等の住宅確保要配慮者の民間賃貸住宅への円滑な入居の促進を図るため、地方公共団体や不動産関係団体、居住支援団体等が連携し、住宅確保要配慮者及び民間賃貸住宅の賃貸人双方に対し、住宅情報の提供等の支援を実施する組織 |
| 緊急輸送道路 | 地震直後から発生する緊急輸送を円滑に行うため、高速自動車国道、一般国道及びこれらを連絡する幹線道路と知事が指定する防災拠点とを相互に連絡する道路をいい、第1次～第3次まで設定されている。 |
| 圏央道 | 三環状道路の一つで、首都圏中央連絡自動車道のこと。都心から半径およそ40kmから60kmまでの範囲に位置する、延長約300kmの高規格幹線道路 |

| 語句 | 意味 |
|-------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 広域行政圏 | 昭和 40 年代前半の高度経済成長の中で、モータリゼーションや日常生活圏域の広域化を背景とし、都市及び周辺農産地域を一体とした地域の振興整備を進めるために開始された施策のこと。都においては、西多摩広域行政圏及び多摩北部都市広域行政圏の 2 つの大都市地域行政圏が設定された。近年の社会経済情勢の変化や市町村合併の進展等により、これまでの広域行政圏施策については当初の役割を終えたものとして、2009(平成 21)年 3 月 31 日をもって廃止されることとなったが、上記 2 つの広域行政圏は、地方自治法上の協議会という形で存続している。 |
| 交通結節機能 | 空港や鉄道駅等で、バス、自動車等、他の交通機関との乗り継ぎが図られ、多方向への移動の円滑化、利便性を確保する機能 |
| 高度処理 | 嫌気槽、無酸素槽、好気槽の 3 つの槽を設けて、各槽における微生物の働きを引き出し、ちっ素とりんを同時に取り除くことのできる水処理方法 |
| 高齢化率 | 65 歳以上の高齢者人口が総人口に占める割合のこと |
| 骨格幹線道路 | 都内や隣接県を広域的に連絡し、高速自動車国道をはじめとする主要な道路を結ぶ、枢要な交通機能を担う幹線道路 |
| 国家戦略特区 | 国家戦略特別区域法に基づき、規制改革を総合的かつ集中的に推進し、産業の国際競争力の強化、国際的な経済活動の拠点の形成の促進を図る制度 |
| コミュニティビジネス | 地域社会における、福祉・環境保護・まちづくりといった多種多様な課題を解決するために、住民、NPO、企業など、様々な主体が協力しながら、ビジネスの手法を活用して取り組むこと |
| さ行 | |
| サービス付き 高齢者向け住宅 | バリアフリー化され、安否確認サービス、緊急時対応サービス、生活相談サービス等の付いた住宅として都道府県等に登録された住宅 |
| サテライト オフィス | 企業・組織の重要拠点から離れた場所に設置されたオフィス |
| 三環状道路 | 圏央道（首都圏中央連絡自動車道）、外環道（東京外かく環状道路）、中央環状線（首都高速中央環状線）の 3 つの環状道路の総称 |
| 市街化区域 | 都市計画区域のうち、すでに市街地を形成している区域及びおおむね 10 年以内に優先的かつ計画的に市街化を図るべき区域 |
| システムインテ グレーター | システムの導入の提案、設計及び構築等を行う事業者 |

| 語句 | 意味 |
|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 次世代交通システム | 最先端の情報通信技術を駆使して、安全かつ快適で、経済的かつ環境に優しい車社会の実現を目指すシステムのこと。例えば、路面電車と比較して遜色のない輸送力と機能を有し、かつ、柔軟性を兼ね備えたバスをベースとした都市交通システム（BRT）に、自動走行の技術を取り入れることで、公共車両が優先される快適な安心・安全な都市交通インフラを実現できる。 |
| 自然公園 | 自然公園法に基づき、優れた自然の風景地を保護するとともに、その利用の増進を図ることにより、国民の保健、休養及び教化に資するとともに、生物の多様性の確保に寄与することを目的として指定される公園で、国立公園、国定公園、都道府県立自然公園の3つの種類がある。 |
| 自転車シェアリング | 地域内の各所にサイクルポートと呼ばれる相互利用可能な駐輪場を設置し、利用者は好きな時に好きな場所（サイクルポート）で自転車を借りたり返却することができる自転車の共同利用サービス |
| 自転車走行空間 | 車道の一部を利用した自転車レーンの設置や、歩道内で植栽帯や舗装の色等により歩行者と自転車を分離する手法等で整備される自転車の通行部分 |
| 市民緑地 | 土地所有者又は建築物等の所有者の申出に基づき、地方公共団体または都市緑地法第68条第1項の規定に基づく、緑地管理機構が当該土地等の所有者と契約を締結して、一定期間、住民の利用に供するために設置・管理する緑地 |
| 社会的入院 | 地域での受入条件が整えば退院可能な状態にあるが、条件が整わず入院を継続していること |
| 周産期母子医療センター | 周産期（おおむね妊娠満22週から生後7日未満）において、産科・小児科から一貫した総合的かつ高度な医療を提供する、NICU等を有する施設 |
| 住宅確保要配慮者 | 低額所得者、被災者、高齢者、障害者、子供を育成する家庭その他住宅の確保に特に配慮を要する者 |
| 準高度処理 | 標準法の水処理施設において、機器の設置スペース確保等、一定の条件を満たす場合に、既存施設の設備改良等と運転管理の工夫を組み合わせることで、ちっ素やりんの削減効果を高める水処理方法 |
| 小規模多機能福祉施設 | 介護が必要となった高齢者が、住み慣れた家・地域での生活を継続することができるように、利用者の状態や必要に応じて、「通い」を中心に「泊まり」「訪問」の3サービスを組み合わせ提供する在宅介護サービスのこと |
| 処置範囲拡大救急救命士 | 心肺機能停止前の重度傷病者に対し、特定の救急救命処置を行う救急救命士。これまでの対象は、心肺機能停止状態の傷病者に限られていた。 |

| 語句 | 意味 |
|----------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 自立型ソーラー スタンド | 外部電源が不要な太陽光発電と蓄電池を利用して、スマートフォン等の充電設備やLED照明が設置されたスタンドを指す。 |
| 森林循環 | 適切な森林整備が確保されるとともに、将来にわたる木材の利用が可能となる「伐採・利用・植樹・保育」のサイクル |
| 水素 ステーション | 燃料電池自動車に水素を供給するための施設。水素を外部から輸送して水素ステーションに貯蔵するオフサイト型と、都市ガスなどを改質してステーション内で水素を製造するオンサイト型がある。 |
| ストリートファ ニチャー | 街路や広場等に置かれるベンチ・案内板・水飲み場等の屋外装置物の総称 |
| スポーツクラ スター | 大規模スポーツ施設を中心とした様々な施設の集積。四大スポーツクラスターとは、神宮地区、駒沢地区、武蔵野の森地区、臨海地区の4か所を指す。 |
| 生活中心地 | 身近なコミュニティにおいて、特徴ある商店街やコミュニティインフラ（道路、公園、集会施設、商店街、子育て支援施設、高齢者介護施設、教育文化施設等）の整った、人々の活動や交流の場。「東京の都市づくりビジョン」（2009（平成21）年7月 東京都）においてイメージが記載されている。 |
| 生産緑地 | 生産緑地法に基づき、市町村が都市計画の中で定める農地。市街化区域内にある農地等で、農林漁業と調和した都市環境の保全など、良好な生活環境の確保に相当な効用があり、かつ、公共施設等の敷地の用に供する土地として適しているものであることなどの条件に該当する、一団のものの区域（生産緑地地区）内の農地等 |
| 生産緑地に係る 「2022年問題」 | 生産緑地法第10条により、生産緑地の指定から30年経過すると所有者は市町村に対し買い取りの申出を行うことができる。1992（平成4）年に最初の指定を受けて、30年が経過する2022年に、一斉に買い取りの申出が行われる可能性があり、市町村は財源の制約から買い取りに応じることができず、指定解除により多くの生産緑地が宅地化されるおそれがある。 |
| 生体機械 （工学） | 人体等の特性、機能及びメカニズムを機械工学的観点から明らかにし、得られた結果を、医学、工学、スポーツ科学等に応用する学術領域。人工関節等の材料となるバイオマテリアルや人工臓器の開発などの研究が行われている。 |
| 浅層埋設 | 電線類の地中化において、従来よりも浅い位置に管路等を埋設すること |
| 送迎保育ステー ション事業 | 自宅から遠距離にある保育所等でも通所を可能にするため、利便性のよい場所に送迎ステーションを設置し、送迎バス等により児童を送迎する事業 |

| 語句 | 意味 |
|----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| た行 | |
| 滞在型農園 | 市民農園の形態の一つ。契約した区画内に農園の他、休憩・宿泊等に使用する簡単な小屋を併設したもの。ゆとりや農、食への関心等から、都市だけでなく農村にも生活の拠点を求める人向けの施設。クラインガルテンともいう。 |
| 第3次交差点すいすいプラン | 片側一車線の道路における交差点で、右折待ち車両による渋滞を緩和するため、用地を取得し右折車線等を整備する事業であり、2015(平成27)年3月に第3次計画を策定した。 |
| 多摩新宿線 | 都市計画区域マスタープラン(平成26年12月)で検討路線に位置付けられている路線の一つ。西多摩や北多摩方面と区部中心部を結ぶ地域高規格道路の候補路線 |
| 地域移行促進コーディネーター | 福祉施設入所者の地域生活への移行を促進するため、入所施設等に配置し、入所している障害者やその家族及び市区町村等に対して、地域生活への移行の働きかけを行う者 |
| 地域スポーツクラブ | 誰でも、どこでも、いつまでもスポーツを楽しむことができ、地域の日常的なスポーツ活動の場として、子供から高齢者まで、また、障害のある人を含めすべての人が参加でき、地域住民自らが主体となって運営するスポーツクラブ |
| 地域包括支援センター | 高齢者に関する様々な相談対応や必要なサービスの調整など、高齢者の地域での自立した生活を支援する機関。日常生活圏域(おおむね中学校区)を単位として設置 |
| 地球温暖化対策報告書制度 | 都内の中小規模事業所での地球温暖化対策の推進を図るため、対象事業所へ地球温暖化対策報告書の提出を義務付けることなどで、CO ₂ 排出量の把握や具体的な省エネルギー対策の実施を促進し、事業活動に伴うCO ₂ 等の排出抑制を図る制度 |
| 貯留施設 | 雨水を一旦貯めて、川や下水道の水位が低下した後に、ポンプ等で排水する施設 |
| デジタルサイネージ | 商業施設や交通機関、店頭、公共空間などで、ネットワークに接続したディスプレイで映像や情報を表示するシステム |
| デマンド交通 | 電話予約等、利用者のニーズに応じて柔軟な運行を行う形態の公共交通 |
| 田園住居地域 | 2017(平成29)年4月に可決された都市緑地法等の一部を改正する法律案により新設される用途地域であり、農地と調和した低層住宅に係る良好な住居環境の保護等を通じて都市の構成要素としての農地を都市計画に本格的に位置付けたもの |

| 語句 | 意味 |
|--------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 東京ER | 365日24時間いつでも、誰でも、様々な症状の救急患者に対して、診察・入院・緊急手術・救命措置などトータルな救急医療サービスを提供することを目的とした救急医療体制 |
| トウキョウX | 東京都畜産試験場（現、東京都農林総合研究センター）が作出した、「脂肪の質がよく」「霜降りになる」という特徴を持った高品質系統豚 |
| 「東京圏における今後の都市鉄道のあり方について」 | 国の交通政策審議会が2016（平成28）年4月に取りまとめた答申。概ね15年後（2030年頃）を念頭に置いて、地下鉄、民鉄線及びJR在来線のほか、モノレール、新交通システム、路面電車等を含む鉄軌道を対象として、その在り方についてとりまとめた。 |
| 東京都GAP制度 | 農業関係法令等に基づき「食品安全」、「環境保全」及び「労働安全」に係る生産上の管理内容や管理手法（点検・評価、改善等）を提示した、農林水産省の「農業生産工程管理（GAP）の共通基盤に関するガイドライン」に準拠した東京都版のGAP |
| 東京都こども救命センター | 他の医療機関では救命治療の継続が困難な小児重篤患者を必ず受け入れ、迅速かつ適切な救命治療を行う、都が指定する4医療機関 |
| 東京都地域救急医療センター | 救急隊の医療機関選定において搬送先が決定しない場合に、救急隊と協力して、地域内の救急医療機関との連携により、受入先の調整を行う医療機関 |
| 特定緊急輸送道路 | 東京における緊急輸送道路沿道建築物の耐震化を推進する条例第7条に基づき、特に耐震化を推進する必要がある道路として指定した道路。緊急輸送道路のうち、 <ul style="list-style-type: none"> ・すべての第一次緊急輸送道路 ・市区町村庁舎との連絡や他県の第一次緊急輸送道路との連絡に必要な第二次又は第三次緊急輸送道路を指す。 <p>※緊急輸送道路 … 地震直後から発生する緊急輸送を円滑に行うため、高速自動車国道、一般国道及びこれらを連絡する幹線道路と知事が指定する防災拠点を相互に連絡する道路をいい、第1次～第3次まで設定されている。</p> |
| 特定緊急輸送道路沿道建築物 | 特定緊急輸送道路に敷地が接する旧耐震建築物のうち、高さがおおむね道路幅員の1/2以上の建築物。「東京における緊急輸送道路沿道建築物の耐震化を推進する条例」及び「建築物の耐震改修の促進に関する法律」により、耐震診断の義務付けなどがされている。 |
| 特別用途地区 | 都市計画法に基づき、用途地域が定められている一定の地区において、地区の特性にふさわしい土地利用の増進や環境の保護などの、特別の目的の実現を図るために、用途地域の指定を補完して定める地区 |

| 語句 | 意味 |
|------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 特別緑地保全地区 | 豊かな緑を未来へ継承するために指定された地域。指定により、税金の優遇等を受けることができるため、樹林地を所有する負担を軽減することができる。建築行為や木竹の伐採など、緑を守るために支障となる行為には制限がかかる。 |
| 都市計画公園 | 都市の健全な発展と秩序ある整備を目的とし、公園・緑地として必要な区域を明確化して長期的な視点から計画的な整備を進めるため、都市計画に定める公園 |
| 都市公園 | 都市公園法に基づく公園または緑地で、国、自治体が設置するもの。住民の利用に供する身近なものから広域的な利用に供するものまで、様々な規模、種類のものがある。 |
| 都市農地 | 主に市街化区域内における農地を指す。 |
| 土砂災害警戒区域 | 土砂災害防止法に基づき、住民の安全確保を目的に知事が指定するもの。がけ崩れなどの災害発生時に住民の生命等に危害が生ずる恐れがある箇所を指定する。 |
| 土砂災害特別警戒区域 | 土砂災害防止法に基づき、住民の安全確保を目的に知事が指定するもの。土砂災害警戒区域のうち、建物の倒壊等により特に著しい被害が生ずる恐れがある箇所を指定する。 |
| 都民の森 | 森林に対する理解を深め、森林の健全な育成及び活用並びに都民の健康の増進を図るレクリエーション施設 |
| トレイルラン | 未舗装の起伏のある山道で行うランニングで、大自然の景観を楽しむとともに、木の根等の障害物を回避しながら走り抜ける陸上競技 |

な行

| | |
|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 二次保健医療圏 | 都民に包括的な保健医療サービスを提供していく上での圏域であり、その整備を図るための地域的単位。複数の市区町村を単位とする13の圏域に分かれる。 |
| 認知症疾患医療センター | 地域における認知症疾患の保健医療水準の向上を図るため、専門医療相談、鑑別診断、身体合併症と行動・心理症状への対応、地域連携の推進、人材育成等を実施する機関 |
| 年超過確率 | 毎年1/Nの確率で時間〇ミリ以上の雨が降ることを意味する。 例えば、「年超過確率1/20規模の降雨である時間65ミリに対応」といった場合、年間1/20（5%）の確率で時間65ミリ以上の雨が降ることを意味する。 |

| 語句 | 意味 |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 燃料電池 | 水素と空気中の酸素を反応させ、直接電気へ変換して発電するシステムで、反応時に水しか排出しないためクリーンである。発電の際に発生する熱も給湯などに利用できるのでエネルギー効率が高い。燃料となる水素は都市ガスを改質するなどして製造される。 |
| 農家レストラン | 農業を営む者が、食品衛生法に基づき都道府県知事の許可を得て、不特定の者に自ら生産した農産物や地域の食材をその使用割合の多寡にかかわらず用いた料理を提供し、料金を得る事業 |
| 農業振興地域 | 「農業振興地域の整備に関する法律」に基づいて都道府県知事が指定する、今後長期にわたり総合的に農業振興を図るべき地域 |
| 農の風景育成地区 | 都市部において比較的まとまった農地や屋敷林などが残り、特色ある風景を形成している地域について、市町が、将来にわたり風景を保全、育成するとともに、都市環境の保全、レクリエーション、防災などの緑地機能を持つ空間として確保する地区 |

は行

| | |
|------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| パークアンドライド | 自宅から自分で運転してきた自動車をターミナル周辺に設けられた駐車場に置き、そこから公共交通機関を利用して業務区域や観光地など目的地へ向かうシステムのこと |
| ハイパースムーズ東京 | 既存の道路を生かし、都内の主要渋滞箇所集中的な施策を行い、渋滞緩和を目指す事業 |
| ハザードマップ | 自然災害による被害の軽減や防災対策に使用する目的で、被災想定区域や避難場所・避難経路等の防災関係施設の位置等を表示した地図 |
| ピクトグラム | 誰にでも伝わりやすい単純化されたデザインの絵文字等により、情報や注意を表示した視覚記号 |
| ビクターセンター | 自然公園を利用される方に、周辺の自然や歴史、文化を分かりやすく展示解説するとともに、情報提供を行うための施設のこと。施設には、解説員が常駐しており、様々な行事を企画している。公園計画で博物展示施設に位置付けられており、条例に基づき多摩地区に6箇所設置されている。 |
| ビジネス航空 | 企業・団体又は個人が、小型ジェット機等を用いて商用目的で利用する航空運送 |
| ビッグデータ | 膨大かつ多様で複雑なデータのこと。スマートフォンを通じて個人が発する情報、カーナビゲーションシステムの走行記録等、日々生成されるデータの集合を指し、単に膨大なだけではなく、非定形でリアルタイムに増加・変化するという特徴を持ち合わせている。 |

| 語句 | 意味 |
|---------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ファブレス | 工場など生産設備や生産ラインなどを持たずに、生産の全てを外部に委託しているメーカーであり、マーケティングや製品の企画・設計、品質管理、販売などを行う。 |
| フィーダー交通 | 交通機関の支線を指し、幹線交通に交通を集中させたり、幹線交通から交通を分散させたりする役割を持つ。鉄道の場合には、バスやタクシー、シェアサイクル等の末端交通が、道路では幹線道路に接続する補助幹線道路や区画道路がこの役割を担う。 |
| フィルムコミッション | 映画、テレビドラマ、CMなどのあらゆるジャンルのロケーション撮影を誘致し、実際のロケをスムーズに進めるための非営利公的機関 |
| 非破壊検査 | 対象を破壊せずに、内部のきずや表面のきずあるいは劣化の状況を調べ出す検査技術 |
| 病児・病後児保育 | 児童が病中又は病気の回復期にあって集団保育が困難な期間、保育所・医療機関等に付設された専用スペース等において看護師等が一時的に保育を行う保育サービス |
| プローブ情報 | カーナビ等の車載器に位置、時刻、速度、方向等の走行データを記録し、情報センターに集約した情報 |
| 文化プログラム | オリンピック・パラリンピック開催時に展開される複数の文化的なイベントから成るプログラム。短くとも選手村の開村期間に開催することがオリンピック憲章に定められている。 |
| ポケットパーク | 潤いや休憩のために道路脇や街区内の空地等に整備した比較的小規模な公園空間 |
| 保全地域 | 自然保護条例に基づき、山地や丘陵地などの良好な自然地を区域指定し、その保護と回復を図る地域。良好な自然の生態系を保護するため、建物その他工作物の建築等が制限され、計画的な保全管理が行われる。 |
| 母体救命対応総合周産期母子医療センター | 緊急に母体救命処置を必要とする妊産婦の受入先が近くの救急医療機関で決まらない場合に、救急部門の医師と連携して必ず受け入れる医療施設 |
| ボルダリング | ロープ等の特別な器具を使わないクライミングのこと |

| 語句 | 意味 |
|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ま行 | |
| マンション再生まちづくり制度 | 市区の策定するマンション再生まちづくり計画を受けて、都が地区を指定し、まちの安全性や魅力の向上に寄与する地区内の旧耐震基準の分譲マンションの再生を支援する制度 |
| 水再生センター | 下水道管によって運ばれた下水を処理して、川や海へ放流する施設 |
| みどり率 | 緑が地表を覆う部分に公園区域・水面を加えた面積が、地域全体に占める割合 |
| 木造住宅密集地域 | 震災時に延焼被害のおそれのある老朽木造住宅が密集している地域として、以下の各指標のいずれにも該当する地域 <ul style="list-style-type: none"> ・老朽木造建築物棟数率 30%以上 ・住宅戸数密度 55 世帯／ha 以上 ・補正不燃領域率 60%未満 |
| や行 | |
| 誘導居住面積水準 | 世帯人数に応じて、豊かな住生活の実現の前提として多様なライフスタイルに対応するために必要と考えられる住宅の面積に関する水準であり、都市の郊外及び都市部以外の一般地域における戸建住宅居住を想定した一般型居住水準と、都市の中心及びその周辺における共同住宅居住を想定した都市型誘導居住面積水準からなる。 |
| ユニークベニュー | M I C E 開催や実施の際に、文化施設や公的空間等を利用すること |
| ユニバーサルデザイン | 年齢、性別、国籍、個人の能力に関わらず、はじめからできるだけ多くの人々が利用可能なように、都市や環境をデザインすること |
| 要配慮者支援施設 | 要配慮者（高齢者、障害者、乳幼児等）の防災施策において、特に配慮を要する方を支援するための施設 |
| 予防保全型管理 | 定期点検などでの確に施設の状態を把握し、計画的に補修や補強を行うことで寿命を延ばし、ライフサイクルコストの低減と更新事業費の平準化を図ること |
| ら行 | |
| 酪農ヘルパー | 農家が休日を確保する場合や農家で突然事故が発生した場合等に、農家に代わり飼養管理等を行う技術者 |

| 語句 | 意味 |
|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 立地適正化計画 | 居住機能や医療・福祉・商業、公共交通等の様々な都市機能の誘導により、都市全域を見渡したマスタープランとして位置付けられる市区町村のマスタープランの高度化版。居住や都市の生活を支える機能の誘導によるコンパクトなまちづくりと地域交通の再編との連携によるまちづくりを進める。 |
| リニア中央新幹線 | 1973（昭和48）年に全国新幹線鉄道整備法に基づく基本計画が決定され、超電導磁気浮上式リニアモーターカーにより東京－大阪間を約1時間で結ぶ新幹線の整備計画路線である。東京－名古屋間については2027年に、東京－大阪間については最短で2037年に開業する予定 |
| リノベーション | 既存の建物にリフォームよりも大規模な工事を行うことで、建物の性能を向上させたり、価値を高めたりすること |
| 緑化地域制度 | 良好な都市環境の形成に必要な緑地が不足している地区において、都市計画の地域地区として「緑化地域」を指定し、一定規模以上の敷地面積の建築物の新築・増築に対し、敷地面積の一定割合以上の緑化を義務付けるもの |
| 連続立体交差事業 | 道路と鉄道との交差点において、鉄道を高架化または地下化することによって、踏切渋滞、事故を解消するなど都市交通を円滑化するとともに、鉄道により分断された市街地の一体化を促進する事業 |
| 6次産業化 | 生産物の価値を上げるため、農林漁業者（1次産業）が、農畜産物・水産物の生産だけでなく、食品加工（2次産業）、流通・販売（3次産業）にも取り組み、それによって農林水産業を活性化させ、農山漁村の経済を豊かにしていこうとすること |

